

食品中の放射能測定システムを 新発売！

富士電機では、食品中の放射能をすばやく測定する『食品放射能測定システム』を商品化しました。

今回発売するシステムは、大量の食品を取扱う事業所向けで、段ボール等に入ったままの食品全数をベルトコンベアに載せるだけで連続的に測定します。測定器にかけるためだけの面倒な前処理は必要ありません。

放射線センサには高感度のNaI(Tl)シンチレータを使用、約12秒(全数測定モード、箱長さ60cm×奥行き40cm)で放射性よう素、セシウムの暫定基準値以下を簡単に確認することができます。

システム付属のソフトウェアで測定結果の確認・印刷等が行なえます。

1. 製品名・型式 食品放射能測定システム (型式:NMU)

2. 発売日 8月下旬注文受付開始
9月初旬より順次出荷開始

3. 価格 4,300,000円(税別)～



システム外観

4. 主な用途 穀類、野菜類、肉・その他 食品中の放射能測定

5. 特長
- ①食品を前処理せずにベルトコンベアで連続測定
 - ②放射性よう素、セシウムの暫定基準値以下を同時に判別
 - ③操作は簡単、専門知識は不要



測定部

6. 主な仕様

検出器	NaI(Tl)シンチレータ		
検出限界(*1)	$^{134}\text{Cs} + ^{137}\text{Cs}$ (全数測定時)	肉類(11.7kg)	約 140Bq/kg (精密測定時 約 50Bq/kg)
		米類(30kg)	約 90Bq/kg (精密測定時 約 35Bq/kg)
		葉菜類(10kg)	約 250Bq/kg (精密測定時 約 100Bq/kg)
測定時間	全数測定 12秒 / 精密測定 120秒 (*2)		
測定可能サイズ	長さ 100cm × 幅 50cm × 高さ 50cm 以下		
外形寸法	本体 W360mm × D865mm × H1350mm (コンベア除く)		
質量	本体 約 150kg (コンベア除く)		

*1: 検出限界は、BGおよび箱形状により変動します。

*2: 肉類の精密測定時間は、150秒となります。

7. 問い合わせ先

富士電機株式会社 放射線システム統括部 営業技術部 TEL 042-585-6024 FAX 042-583-6194

fric-info@fujielectric.co.jp

以上